

新とよみ生協病院

回復期リハビリ病棟の展望

とよみ生協病院回復期リハビリ病棟

師長 新里 康



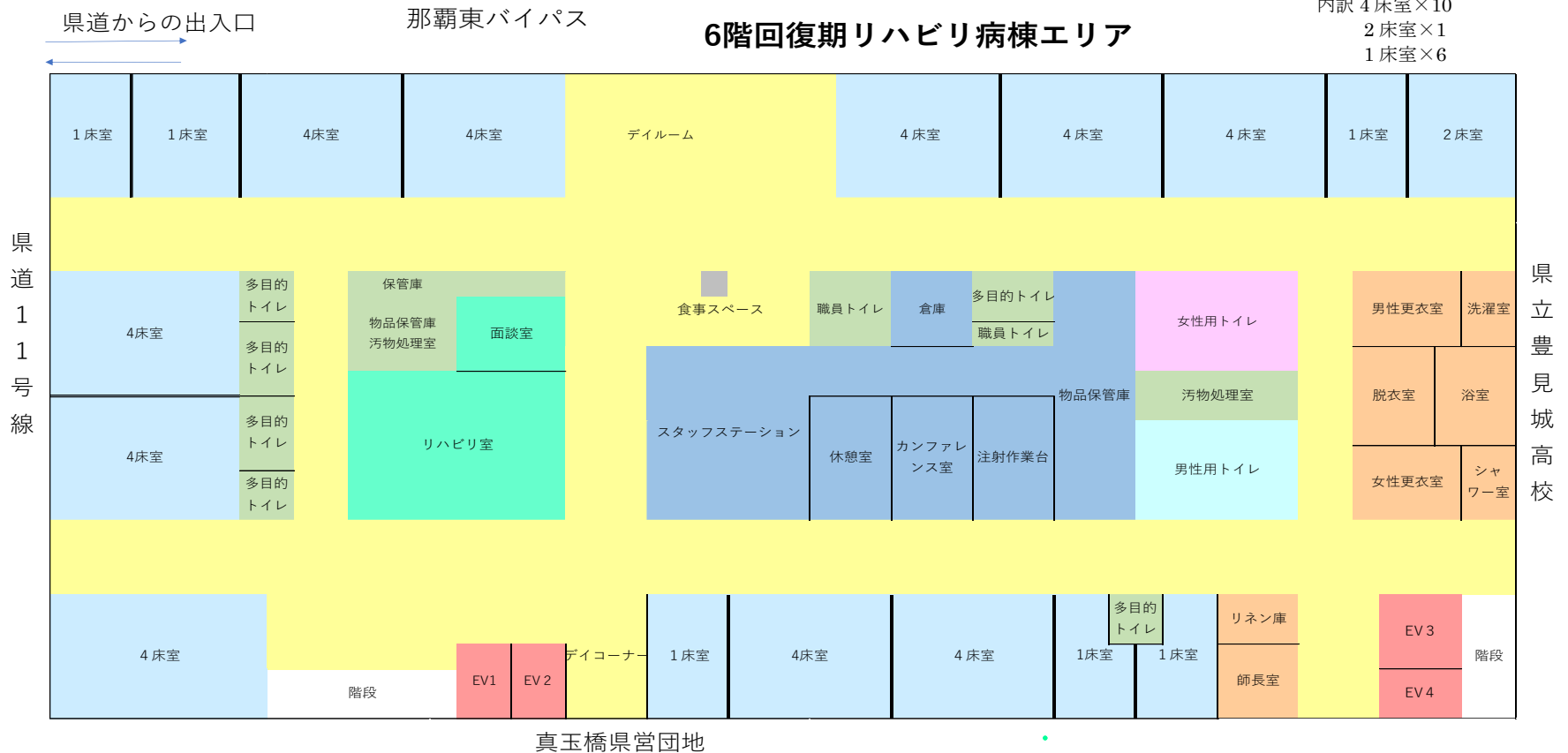
現在の病棟では個室がなく感染対策等に苦慮していましたが新病院では個室を整備し、患者様の療養の安心・安全を確保することができそうです。

回復期リハビリ病棟は48床で入院患者を急性期病院から受け入れ、在宅復帰を目指してその人らしい生活が出来るようにサポートをしていく場所です。例えば、集中的なリハビリテーションの提供と日常生活動作（着替え、排泄、食事、洗面、入浴など）が自分で行なえるようにお手伝いします。

来年の2月開院に向け、看護スタッフ・リハスタッフと協同し患者様の視点に立った回復期リハビリ病棟の内装を考案中です。ちなみに、お風呂場は、現在より大きくシャワーストレッチャーが2台入りまします。トイレも集中型と、多目的トイレも複数設置しています。

新病院では、職員が各々の力を発揮できる環境作りに取り組んでいきます。地域組合員・職員組合員の皆さん楽しみにしててください。

回復期リハビリ病棟 48床
内訳 4床室×10
2床室×1
1床室×6



とよみ生協病院建設状況

2023年に入り基礎工事からいよいよ躯体工事に移行しています。これからは一ヶ月単位で階層が組み上がっていくスケジュールです。今回2階部分の視察をする事が出来ました。2階部分は主に健診室、婦人科外来、放射線室、検査室等です。現場視察では俯瞰でみる平面図と違い立体的になって行く過程で各エリアの間取りを実寸で見ることが出来完成時のイメージを高めました。

とよみ生協病院新病院建設準備室 渡嘉敷 博和

